

小山町立すがぬまこども園評価「自己評価書」

1 教育・保育目標

「富士のもと たくましく のびのび 遊べる子」
 「やってみようとする子」 「やさしい子」 「げんきな子」

2 重点目標及び具現の方策

重点目標 「自分を表現できる子の育成」
 具体的方策
 ・乳幼児一人一人の思いに寄り添い、安心して遊び、事故発揮できるように援助を工夫する。
 ・身近な人や物・事とのかかわりを大切にし、直接体験や感情体験をとおして豊かな心を育む。
 ・子ども・保護者・保育者・地域との連携を図り、教育効果を高める。

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
教育目標・園目標	B		B	A
保育計画・教育課程	B		B	A
保育指導	B	一人一人の発達など読み取りをしっかり行っていく	B	A
研修	B	小グループや隙間時間を使っての園内研修を行っていく	B	
特別支援教育	B		B	
安全管理	A		A	A
保健管理・食事	A		A	A
組織運営・情報管理	B		B	A
情報提供	B	ホイクトシステムの十分な活用を行う	B	B
保護者・地域との連携	A		A	A
子育て支援	B	コロナ禍でペンギンランドを行っていない	B	A
施設・設備	B		B	A

- (注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」
 2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
 3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と

回答したものを除いて集計したものである。

- 4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育計画・教育課程	
保育指導	0歳児のクラスは、新しい生活様式での保育が難しい面がある。どんな改善点を書くか？
保護者・地域との連携	コロナ禍で、子どもの様子を見てもらう機会が少なくなっているため、今日一枚や地域版などを通して、発信の工夫をしていきたい。

5 評価全体を通して（総評）

- ・こども園になり、会議等の時間の確保が難しくなった。その為、職員の共通理解がホワイトボードや紙媒体になってしまうので、一つ会議に対して、複数回同じ内容で行うなど、全員が会議に参加出来るように工夫していく。
- ・例年とは違うやり方ではあったが、運動フェスティバルやせいかつフェスティバルを行う事が出来たことは良かった。コロナ対策を行いながら、安全に出来る方法をこれからも職員で話し合いやっていきたい。
- ・今年度よりホイクトが導入され事務的仕事量は軽減されたが、衛生面や安全面などに配慮が必要であった。新しい生活様式の中で、子どもが安心して過ごしていけるように職員一丸で頑張っていきたい。